

第1回 地域子ども・子育て支援事業関係分科会（議事録）

日時：平成26年4月15日（火）19時～21時

場所：佐世保市中央保健福祉センター6階

質問・意見等	事務局回答・今後の方針など
子育てへの父親の参加について	
<p>企業父親育児促進講座について。もう少し企業の参加者が多くあると良いと思う。チラシを配るだけでなく一声かけると違うと思う。</p>	
発達センターについて	
<p>子ども発達センターが三ヶ町にオープンするが、非常に場所は良いと思う。</p>	
<p>四ヶ町の親子広場と三ヶ町の子ども発達センターとの棲み分けはどのようにするのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 発達センターは療育部門もあり、子どもの発達を遊びながら相談を受けるというのが大きな特徴。遊びだけでなく療育も関連する。もちろん、四ヶ町でも三ヶ町でも両方とも使って頂くことは良いと思う。棲み分けについては、今決まっているものではなくて、今後検討していかなければならないと考えている。
<p>今の点で問題点というか、企業者からすると、似たような業態が近くに来る時、お互いの持ち味を発揮してエンドユーザーに良いサービスを提供していくことが重要。</p>	
5歳児の発達相談について	
<p>3歳児健診などで要フォローになっていたら誰かが看ているのでよいが、そうでない人が気になる場合にどこに行けばよいのか。3歳児健診の後、受診できるように広報活動的なことはどうなっているのか教えてほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 3歳児健診の時に異常ではないが気になる人には母親にも了解を得た後、郵送で発達状況などを確認。母親からの相談や保育所や幼稚園などの集団の場の中で気づいた方が良いということで、発達相談会という形で情報を頂き、作業療法士や心理療法士が判断してドクターに相談して発達センターなどに行った方が良いかどうかなどアドバイスをしている。 現実的には受入キャパの問題も抱えており、これ以上増えると対応が難しい面もある。
4か月健診について	
<p>以前は4か月健診の際にBCGをやっていたが今はない。このため参加者が少なくなっていないか心配。状況はいかがか。また、もし下がっていたらその対策はいかがか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年12月分までの実績では平成24年度99.6%に対し、98.6%と1%下がっているが、心配したほどの低下は無い。

質問・意見等	事務局回答・今後の方針など
発達障害・虐待等の早期発見について	
<p>発達障害も虐待を見つけるのもそうだが、問題を抱えている人が相談や受診の場に来てくれて解決方法を一緒に考えることが重要。</p> <p>子どもと接する時間が長い幼稚園や保育園の先生向けのスキルアップの事業などはあるのか。なければ是非作ってもらいたいと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園に訪問し子ども発達センターに通っている子どもを見て先生たちへアドバイスをしているが、その中で他の子どもの相談も受け、具体的にアドバイスを行っている。スキルアップの講座なども必要と思うが、現場の中で対応している状況もある。 ・ 子ども発達センターで年10回程度、先生向けの勉強会等を開催。5歳児健診の後にも講習会形式で実施。虐待の方は子ども子育て応援センターで対応。 ・ 全ての健診の未受診者は虐待の可能性があるため、電話や手紙などで把握するように努めている。それでも返事がなかったりする人は家庭訪問を実施するなど何かの形で訪問・把握するように努めている状況である。
<p>発達障害の診断は難しいということ。医者は最悪のケースを想定して診断すると思うが、診断を受けて大変落ち込んだりする場合もある。</p>	
人材育成について	
<p>全国子育てひろば連絡協議会では子育て支援士の育成を進めようとしている。親子と行政、療育部門を結ぶ役割を担う人材を育てる研修を行う予定。</p>	
ワークライフバランス・職場環境について	
<p>子育て中での経済的負担をいかに軽減するかが問題。この視点で計画を作ってもらいたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済的な支援については児童手当などある。今後、保育園と幼稚園の保育料が所得に応じて設定することになるが、子育て家庭への支援が大切だと思うので、選択しながら対応策を検討する必要がある。
<p>ワークライフバランスも取り組んでいるが、実現していない部分もある。ワークライフバランスを市として子育て支援という中でどのように事業者にうたえていくのか。これまでになかった呼びかけをしていかないと、結局は呼びかけで終わってしまっていると思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2年ほど前、市長からの手紙を約3000の事業者に出した。子どもが病気した時などに親が休みやすい環境づくりを企業にお願いするための内容であった。今後、産業部門と連携し考えていく必要がある。
<p>企業側の環境整備はとても大切。企業側も労働者側も少子化を止めるという目的については疑いもなく同じ。その実現のための手段をどうするかを考えていく必要があると思う。</p>	

質問・意見等	事務局回答・今後の方針など
地域連携・健全育成について	
<p>地域の健全育成協議会があると思うが、その連携はとられているのかお聞きしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 我々の健全育成は主に未就学児。児童青年は社会教育課。我々は児童センター、児童クラブ。小学校向けの放課後児童クラブと子ども教室は連携しているが、上手く連携できていないのが課題。今後の方向性について検討する必要がある。
ファミリーサポートセンターについて	
<p>ファミリーサポートセンターの利用者が減っているようだが、単なる告知不足なのか、原因があるのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 減っているのではなくて増やしているような状況。会員数は増えているが認知度が低いので周知を図っている。 延長保育など選択肢が広がっているのが利用が広がらない一つの要因と思われる。 国の規定で有料にしている。料金に規定は周辺と同等の金額にしている。一度使うと満足度が高くなる傾向があるので、周知を強化し理解して頂くことが重要と思う。
<p>利用者数が少ないと思うが、700円がネックになっていると思う。この金額は全国的に同じか。</p>	
全国にPRできる取り組みについて	
<p>全国的にPRできる取り組みはあるのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保幼小連携カリキュラムは全国から注目を集めており視察も受けている。市内全部の幼稚園、保育園、小学校、認可外で施設長会を開催し、講演会も開催。全体として共通認識をもってもらおうことが狙い。